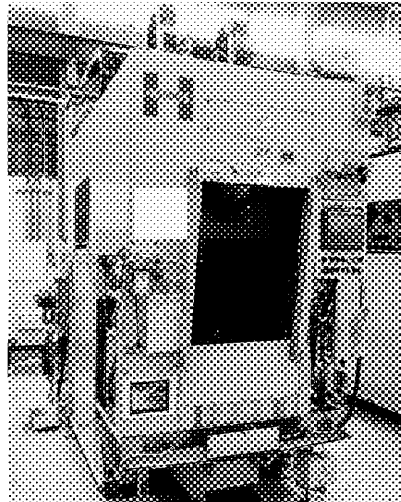


余剰機械の改造・転用受注

ヤマザキ 設備投資圧縮 後押し



余剰になった機械を改造して転用を促す
(改造後の機械)

【浜松】ヤマザキは輸送機器の電動化で今後の余剰が予想される既存の製造設備を、他の製品や部品向けに転用する「アフターマーケット（AM）」事業の営業活動を本格的に開始した。2020年にホーコス（広島県福山市）と同事業の営業を担う共同出資会社の

HYテクノロジーズ（浜松市東区）を設立したが、コロナ禍で活動が停滞していた。専用工作機械のノウハウを活用した転用による設備投資額の圧縮メリットを訴求し、10年後に売上高10億円規模を目指す。

HYテクノロジーズは全国に向けて営業活動を展開し、主にホーコス製工作機械のメンテナンスや改造、転用を受注する。営業と同時に、今後10年でヤマザキ社内にはAM事業に携わる技術者40人以上の育成を目指す。またヤマザキ単独では、両社製以外の中古機械の改造・レトロフィット、オーバーホールの市場開拓にも取り組む。

ヤマザキは自動車産業が集積する静岡県に本社を置く。AM事業で、自動車メーカーによる電気自動車（EV）の開発加速といった業界の環境変化に対応する。